

ポイ捨て・不法投棄ゼロになる日まで…

一 国分寺クリーン作戦に参加しました

12月11日（日）、第3回讃岐国分寺クリーン作戦が開催され、リソーシズからは16名とのお子様4名の総勢20名が参加しました。

高松市国分寺町は、四国八十八ヶ所霊場 第80番札所の“讃岐国分寺”があり、盆栽などの地場産業が盛んな、歴史と文化が調和する町です。今回のクリーン作戦は、国分寺町の豊かな歴史・文化に触れながら、不法投棄及び自然保護について改めて考え、自然あふれる美しい町の魅力を発信することを目的として実施されました。



清掃を担当した高松自動車道の側道近辺には、タバコの吸い殻や空き缶・空きビン、そして鍋や扇風機など多くのゴミが落ちており、ゴミ袋はあっという間にいっぱいになりました。

参加者からは、「なんでこんなところに捨てたんだろう…」「どういう気持ちで捨てたのかな…」など、ポイ捨て・不法投棄を悲しむ声が聞こえてきました。

ゴミを捨てる人は「自分の目の前からゴミが無くなればそれで良い」と安易な気持ちで捨てているのかもしれない。

でも、それをたくさんの時間と手間をかけて拾っている人がいることを知っていてほしいものです。



ポイ捨て・不法投棄が無くなる日がいつか来ると信じて、これからも積極的に清掃活動に参加していきます。

